

会議録

会議の名称	令和6年度第1回加東市まちづくり推進市民会議		
開催日時	令和6年10月11日(金) 14時から15時40分まで		
開催場所	社公民館 研修室		
議長・副議長の氏名 (座長 梅 野 巨 利、副座長 藤 川 和 義)			
出席及び欠席委員の氏名			
〈出席委員〉			
・ 鶴 野 泰 寛	・ 大 西 信 輔	・ 柴 崎 孝 彦	・ 藤 川 和 義
・ 山 根 謙 順	・ 梅 野 巨 利	・ 菊 川 裕 幸	・ 須 田 康 之
・ 黒 崎 み どり	・ 勝 田 憲 弘	・ 高 松 善 教	・ 田 尻 倫 生
・ 三 宅 堂 之			
〈欠席委員〉			
・ 坂 本 幸 子	・ 中 江 艶 子	・ 川 元 浩 司	・ 松 本 久 美 子
・ 松 本 武			
出席した職員の氏名及びその職名			
〈事務局〉			
・ まちづくり政策部長 三木秀仁	・ まちづくり政策部企画政策課長 岸本純子		
・ まちづくり政策部企画政策課副課長 村上計太	・ まちづくり政策部企画政策課主査 仲井智紀		
・ まちづくり政策部企画政策課主査 畑谷拓哉			
〈事務局以外〉			
・ 教育・振興部長 鈴木敏久	・ 教育振興部教育総務課副課長 堅田美佳		
・ 教育振興部教育総務課係長 長谷川裕香	・ 教育振興部教育総務課主査 小紫祐来		
・ 教育振興部教育総務課主事 小西康基	・ 教育振興部教育総務課学校給食センター所長 芹生祥子		
・ 教育振興部生涯学習課長 岸本孝司	・ 教育振興部中央図書館副課長 藤田智華子		
・ こども未来部長 田中孝明	・ こども未来部参事兼学校教育課長 井上裕子		
・ こども未来部小中一貫教育推進室長 丸山真矢	・ こども未来部小中一貫教育推進室係長 原英孝		
・ こども未来部学校教育課副課長 森本恭央	・ こども未来部発達サポートセンター所長 友藤由貴子		
・ こども未来部発達サポートセンター主査 新谷沙里	・ こども未来部こども教育課長 下岡正裕		
・ こども未来部こども教育課係長 金高将彦			
議題、会議結果、会議の経過及び資料名			
1 議題及び会議資料			
(1) 座長及び副座長の選出			
【資料1】加東市まちづくり推進市民会議設置要綱			
(2) 報告・協議事項等			
ア 令和6年度加東市まちづくり推進市民会議における協議スケジュール・内容等について			
【資料2】令和6年度加東市まちづくり推進市民会議について			
【資料3】〔評価シート例〕令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート			
イ 第2次加東市総合計画後期基本計画の進行管理（施策評価）について			
【資料4】令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート〔政策Ⅰ・Ⅱ〕			

2 会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
委員 室長 座長 座長	1 開会 2 事務局挨拶 3 座長及び副座長の選出 4 報告・協議事項等 ア 令和6年度加東市まちづくり推進市民会議における協議スケジュール・内容等について ○資料について事務局から説明 イ 第2次加東市総合計画前期基本計画の進行管理（施策評価）について ○政策Ⅰ主要施策(Ⅰ)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】 ◆主要施策(Ⅰ) 小中一貫教育の推進 ・まちづくり指標「①中学生（7年生）になることへの不安がない児童の割合」について、66.8%の児童は不安が無いと回答しているが、残りの33.2%の児童は不安を抱えているということだと思ふ。不安の内容を把握することで、今後の改善に繋がると思った。 ・不安の内容については、現状把握しきれていないが、勉強のこと、部活のこと、友達や先輩のことなど様々考えられる。小中一貫校になることで、小中のギャップをなくし、スムーズに接続できるよう努めていく。不安の内容の把握については、今後検討していく。 ・一次評価はAであるが、それで良いか。 （「異議なし」と呼ぶ者あり） ・二次評価もAとする。
委員 参事 委員 参事 委員 参事 委員 委員	○政策Ⅰ主要施策(Ⅱ)～(Ⅳ)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】 ◆主要施策(Ⅱ) 確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成 ・まちづくり指標「①学校の授業がわかる児童・生徒の割合」「⑤情報収集・資料作成ができる児童・生徒の割合」について、それぞれアンケートの回答により評価しているが、アンケートは全児童生徒を対象に実施したのか。 ・アンケートは全児童生徒に実施しているが、指標の実績値には小学6年生と中学3年生の回答分を記載している。 ・まちづくり指標の目標値の設定について、例えば「①学校の授業がわかる児童・生徒の割合」の令和5年度94.0%という数値はどのようにして設定したのか。 ・令和3年度の実績値を参考に設定している。 ・主要施策を構成する主な事務事業「①学力向上推進事業」について、成果△で一部成果があったということだが、具体的な内容を伺いたい。 ・全国学力学習状況調査の結果、学力が横ばいで推移している。学力向上プロジェクト委員会や、各学校で様々取り組んでいるが、今後更に取り組んでいきたいと考えており、成果は△としている。 ・まちづくり指標「⑤情報収集・資料作成ができる児童・生徒の割合」について、情報収集資料作成ができる児童生徒の割合が25.6%というのは危機的な状況かと思うが、対策等はしているか。 ・指標名には「～できる児童生徒の割合」と記載しているが、実績値の数値はアンケートで「得意」と回答した割合を集計している。「どちらかという得意」と回答した割合を含めると約88%であり、肯定的な回答が多くなっている。 ・まちづくり指標の目標値の設定について、低く設定されていれば容易に達成できると思うので、目標値の妥当性について今後検討していただきたい。 ・昨今、自己肯定感の低い児童生徒が多いと感じている。自己肯定感を高めるという観点で課題意識を持ち、施策を考えていくと、様々な改善に繋がるのではと思う。

参事	・自己肯定感の高い児童生徒は、意欲も高いと感じているので、そのような観点で施策を考えていきたいと思う。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(3) 心の教育の推進
副課長	・主要施策を構成する主な事務事業「④不登校対策事業」の成果について、具体的に伺いたい。
委員	・令和5年度は不登校の児童生徒が98名いた。令和4年度は102名であり、横ばいの傾向である。全国的にはコロナ以降、右肩上がりの状態が続いていることを踏まえれば、一定施策の成果が出ていると考えられるが、引き続き、居場所の提供や学校復帰の支援を充実させていく。
副課長	・不登校を悪と見る傾向が無くなってきていると感じる。そうした中で、学校復帰を支援することは大切だが、同時に、登校できずとも学習に遅れが出ないようにする、学校との繋がりが切れないようにする取組等を考えていくことで、課題解決に繋がるのではないか。
座長	・いただいた意見を参考に、是非そのような施策を講じていきたい。
座長	・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もAとする。
座長	◆主要施策(4) 健全な子どもを育てる環境づくり ※質疑応答なし
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
委員	○政策Ⅰ主要施策(5)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】
所長	◆主要施策(5) インクルーシブ教育の充実のための支援
委員	・サポートファイルについて、高校とは連携しているか。
座長	・中学校卒業時に保護者の意向確認を行っている。高校に持っていきたいと希望され、そのまま持っていかれる方もおり、保護者から依頼があれば高校と連携していきたいと思っている。
座長	・高校進学時に情報が途切れると支援が難しくなる。丹波篠山市では、小中高が連携した連絡協議会があったりするので、是非方法を検討していただきたい。
座長	・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もAとする。
委員	○政策Ⅰ主要施策(6)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】
課長	◆主要施策(6) 幼児教育と保育サービス等の充実
座長	・社地域のアフタースクールを一か所に集約する計画があると思うが、計画予定地は決まっているか。
座長	・社地域小中一貫校の南側に隣接する市有地で現在建設工事を行っている。令和7年度の小中一貫校開校に合わせて運営開始を予定している。
座長	・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もAとする。
委員	○政策Ⅱ主要施策(7)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】
委員	◆主要施策(7) 学校教育環境の整備充実
委員	・まちづくり指標「②学校給食の副食(野菜)における市内産食材の使用割合」について、市内産食材を使用するだけでなく、同時に生産から出荷までの過程を伝える等の取組を行うことが効果的な食育に繋がると思う。実績値が現状25.8%だが、目標値が毎年1%ずつしか増えていない。目標値を増やせない理由がある

所長	のか。 ・令和5年度57, 100kgの野菜の総量のうち、14,740kgが市内産であり25.8%を占めている。しかし、令和6年度の途中経過4～7月の値を見ると、前年比の約52%に留まっている。気温の上昇や台風被害により、加東市産に限らず、全国的に野菜がとれにくい状況にある。そうしたことを踏まえて、目標値を高く設定することは困難と考え、最終目標（令和9年度）を30%とし、毎年の目標値を設定している。
委員	・野菜の生産については、農業部局とも連携し、生産と消費の好循環が生まれるように努めていただきたい。
座長	・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もAとする。
	○政策Ⅱ主要施策(8)～(10)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】
委員	◆主要施策(8) 市民文化の創造の促進
課長	・学芸員は配置しているか。
委員	・正規雇用の学芸員を1名配置している。
課長	・まちづくり指標「②文化財等の啓発活動回数」について、ふるさと学習「かとう学」との関連を持たせる等して、更なる啓発活動を行ってほしいと思う。
座長	・いただいた意見を参考に、努力していく。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	◆主要施策(9) 社会教育を支える土台づくり ※質疑応答なし
座長	・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もAとする。
座長	◆主要施策(10) 生涯スポーツ・レクリエーションの推進 ※質疑応答なし
座長	・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もAとする。
	○政策Ⅱ主要施策(11)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】
座長	◆主要施策(11) 図書館機能の充実
座長	・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もAとする。
事務局	5 その他 ・本日、ご意見いただいた各施策の取組に対する視点や考え方については、十分に意識し、今後各分野で策定する個別計画に反映できるようにする。
	6 閉会

令和6年11月29日

座長 梅野巨利
副座長 藤川和義